



# 平成27年度 「学校保健」文部科学大臣表彰 受賞

平成 26 年度 日本学校保健会健康教育推進学校  
優秀校・特別協賛社賞 受賞

川口市立木曽呂小学校



開 校	平成 8 年 4 月 1 日 (差間小・神根小より分離新設)
児童数	男子 467 名 女子 460 名 計 927 名 (5/1 現在)
学級数	27 学級
教職員数	男 17 名 女 23 名 計 40 名

## 1 学校概要

本校は、今年で開校 20 年目を迎えた、児童数 927 名、27 学級の大規模校である。川口市の北部に位置し、北側に見沼の自然が残る台地を有し、近くには見沼田んぼや見沼代用水の自然林があり、低地と台地が織りなす変化に富んだ豊かな自然の中に位置している。平成 23 年度から川口市の委嘱を受けて体育科の研究を継続して取り組んでいる。また、ここ数年埼玉県の学校歯科保健優良校に選ばれるなど学校保健の活動にも重点を置き、健康づくり推進に向けて、全職員で共通理解・共通行動の指導の徹底で体育や健康教育に取り組んでいる。

## 2 学校経営方針と健康教育

本校では、学校教育目標を「進んで学ぶ、豊かな心、たくましい体」とし、学校経営方針を「地域に根ざした教育の推進～共創・共感・共生の創造～」としている。キャッチフレーズに「元気いっぱい」とし、たくましい心と体をもった児童の育成を目指し、健康教育と関連づけて特色ある学校づくりを開拓している。

グランドデザインには、「楽しい学校、温かい学校、美しい学校、元気な学校」で学校を支え、健康教育を支えていることも示している。全校児童 927 名という大規模校ではあるが、一人一人の児童を大切に、教職員が一丸となり「チーム木曽呂」としてきめ細かな指導を展開している。

## 3 学校保健等の取組

- (1) 系統性を重視した歯・口の健康づくり
- ①各学年・学級での歯科保健指導の実施



### ① 別のブラッシング指導の実施

歯科健診で C0、歯垢・歯肉に「1」がついた児童を対象に指導を行っている。また、指導後は家庭でも点検してもらうために振り返りの手紙を配布している。



### ③給食後の歯みがきの定着化

給食後の歯みがきタイムでは、音楽を流しながら歯みがきを行っている。また、歯の重点指導期間には歯みがきチェック表を配布し、歯みがき実施率 100%を目指して取り組んでいる。

### ④家庭との連携

年2回の家庭でのカラーテスターや歯みがきカレンダーを実施することで、児童の意識だけでなく、家庭の意識も高まっている。また、保護者からのコメントを通して、家庭での歯みがきの様子を知り、学校での歯科保健指導の際に生かすようにしている。

### ～きぞろっこみがき～



## ⑤児童保健委員会の活動

歯っぴー月間には、各学級を訪問し、紙芝居を用いて話をしたり、給食委員会と協力して歯ブラシチェックを行ったりしている。

## ⑥その他の取組

歯・口の健康啓発標語・図画ボスターの募集を行い、6月に保健室前に掲示して歯への関心を高めている。また、むし歯が治療されゼロになった学級は歯科保健優良学級として朝会で表彰している。



## (2) 家庭・地域と連携した望ましい生活習慣づくり

### ①学校保健委員会の充実

本校では年3回学校保健委員会を実施し、これからの体力向上・健康の保持増進に向けて必要な取組を研究協議している。また、学校保健委員会で取り上げた内容は学校だよりをはじめとして、保健だよりや健康リーフレットに載せて全家庭に開催報告を行ったり、発育測定前の保健指導で児童へ伝えたりしている。

平成 26 年度から、近隣の中学校と連携を図り「小中合同学校保健委員会」として実施し、平成 27 年度からは中学校区へと拡大し、「地域学校保健委員会」を実施している。管理職や養護教諭、教職員、児童生徒が参加し、交流を深めることで更なる健康教育の充実を図ることができた。



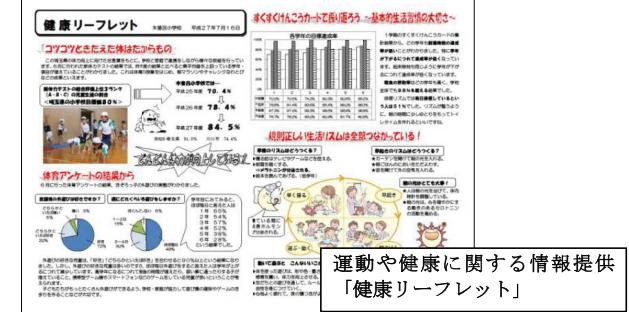
校医さんによる講話



児童による発表



保護者・児童・生徒によるグループディスカッション



②校内研修と連携した取組  
運動や健康に関する情報提供の資料「健康リーフレット」、学期に1回の生活習慣チェック「すくすくけんこうカード」を通して家庭と連携しながら取り組んでいる。

### ③ノーメディアの取組

夏季休業中に家庭でノーメディアの日を3日間決め取組を行ってもらっている。テレビやゲームについて考えることをねらいとし、家族との時間の過ごし方を考えもらっている。

### (3) 保健掲示物の充実

保健室内や前の廊下には、子どもたちがつい立ち止まって見て触って学ぶことのできる指導教材を作成・掲示している。**(裏面に詳細写真)**

### (4) 望ましい食習慣の確立

#### ① ランチルームの活用



#### ② 食育月間の取組

児童集会では、いつもお世話になっている配膳員さんへ給食委員会が代表として感謝の手紙を送っている。

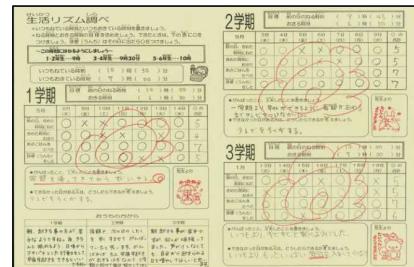
#### ③ 学校給食センターの栄養士による

##### 「食に関する指導」の充実

食の大切さについて、クイズや实物の教材などを使って授業や講話をしていただいている。配膳室前には栄養士手作りの楽しい掲示物がたくさん掲示されている。

#### ④ 地域に根ざした食育指導

地域のボランティアや学校応援団の方々と協力して、グリーンカーテンの設置や地域の特産物であるハツ頭の栽培などを行っている。



### (5) 学校安全等の推進

#### ① 交通安全指導

外部指導者を活用し、学年の発達段階に応じ、正しい歩行の仕方や自転車教室、ダミー人形の衝突実験などを行っている。

#### ② 登下校の安全指導



#### ③ 緊急時に備えた訓練



### (6) 基礎的・基本的な体力向上を目指した体育授業の充実

本校では、市の研究委嘱を受け、体育指導の充実・授業を支える取組・教員の資質向上に取り組んでいる。「健康リーフレット」の作成にもあたっている。

#### ② 体育科授業の充実



各学年1授業研究を通じて、よりよい授業づくりを目的として授業の工夫改善に取り組んでいる。

#### ② 授業を支える取組



朝マラソン、なわとび月間、チャレンジなわとびなどをを行い、運動に取り組むことの習慣化を図っている。

### 4 成果と課題

学校・家庭・地域が一体となって健康教育を推進していくことで、学校の取組に対する理解・協力体制も充実し、児童・保護者の健康教育に対する意識が、今まで以上に高まった。歯科保健では定期的な歯科指導や全教職員の共通理解にたった指導を継続したことで、むし歯のある児童の割合が24.0% ( $H25$ ) ⇒ 21.5% ( $H26$ ) と減少した。生活習慣では朝食の摂取率は98%を超えるようになった。就寝・起床時刻については、達成率が上がるよう継続した指導をしていく必要がある。

今後は、取組の成果と課題を整理し、見直しを図りながら、学校・家庭・地域がより一體となった活動、地域学校保健委員会の充実を図り、健康教育を推進していく。

### ○保健掲示物



### 季節に応じた掲示物(熱中症、インフルエンザ等)

